



## International WORKSHOP 2009 in Cheongju, KOREA



## International WORKSHOP 2010 in Valencia, SPAIN



予定

## International WORKSHOP 2011 in Dresden, GERMANY



## 安全・安心 防犯まちづくり Community Design for Crime Prevention



## 向島プロジェクト MUKOJIMA PROJECT



## 客員教授による 一般公開 特別講義



## 研究室について About yamamoto.lab

### 「韓国・清州市の旧市街にある Su-dong 教会通り周辺地区の再生」

2009年8月3～7日に韓国の清州大学校で8月3～7日に開催された国際デザインワークショップ。グローバル化が進む中、密着に配置された都市再生が重要な課題となっている。韓国でも、マイカーへの依存から脱却し、都市に自然を取り戻し、旧市街を魅力ある都市に再生することが求められている。清州市は、韓国中部にある人口63万人の道庁所在地。Su-dong教会通りは、その旧市街に位置する。1970年頃まで小川が流れていたが、周辺の都市化に伴い埋め立てられ、その上部は全て公共駐車場となっている。地区の特性や課題を踏まえて、Su-dong教会通り周辺地区の環境再生・都市再生をリードするプロジェクトを提案する。都市計画研究室では、この国際ワークショップに先立ち、2009年6月6～8日に研究室メンバー全員が訪韓して現地調査を行い、ワークショップ参加者による成果を報告して準備を進めた。ワークショップには、日からは明治大学・千代田大学・筑波大学・韓国からは清州大学・忠州大学・延世大学校等、建築系大学の教員と大学院生約100名が集まった。明治大学からは4名の指導教員（小林正美教授・山本俊哉教授・小池博康准教授・村松圭彦准教授）と17名の大学院生と地元出身の留学生（計15名）が参加。都市計画研究室からは山本俊哉のほか、石川周平・加賀真一・片桐耕平の3名が参加した。

### 「バレンシアの海岸沿いにある El Cabanyal 地区の保存と再生」

2010年6月8日(火)～6月12日(土)スペイン・バレンシア市のバレンシア工科大学とエルカバニャル地区において開催された国際ワークショップ。グローバル化が進む中、密着に配置された都市再生が重要な課題となっている。韓国でも、マイカーへの依存から脱却し、都市に自然を取り戻し、旧市街を魅力ある都市に再生することが求められている。清州市は、韓国中部にある人口63万人の道庁所在地。Su-dong教会通りは、その旧市街に位置する。1970年頃まで小川が流れていたが、周辺の都市化に伴い埋め立てられ、その上部は全て公共駐車場となっている。地区の特性や課題を踏まえて、Su-dong教会通り周辺地区の環境再生・都市再生をリードするプロジェクトを提案する。都市計画研究室では、この国際ワークショップに先立ち、2009年6月6～8日に研究室メンバー全員が訪韓して現地調査を行い、ワークショップ参加者による成果を報告して準備を進めた。ワークショップには、日からは明治大学・千代田大学・筑波大学・韓国からは清州大学・忠州大学・延世大学校等、建築系大学の教員と大学院生約100名が集まった。明治大学からは4名の指導教員（小林正美教授・山本俊哉教授・小池博康准教授・村松圭彦准教授）と17名の大学院生と地元出身の留学生（計15名）が参加。都市計画研究室からは山本俊哉のほか、石川周平・加賀真一・片桐耕平の3名が参加した。



### 「震災復興・現代文化交流 建築学生ワークショップ」

学生ワークショップの趣旨  
この学生ワークショップは、東京とドレスデンの震災復興と都市再生を研究している日独双方の次世代建築系学生が一同に集い、日独交流150周年を機に、150年以上前から文化つくりを有するドレスデンの都市と文化の歴史を振り返りつつ、現代の日本文化とドレスデンの都市再生のあり方について理解を深めるとともに、ドレスデンの歴史的地域の一角に計画敷地を想定し、当該敷地のアーバンデザイン又は新たな建築のアイデアを提案する。これを通過して、ドイツ学生の現代日本文化に対する理解および日本学生の欧州都市文化に対する理解を深め、東京とドレスデンの震災復興と都市再生の研究の促進に寄与する。

ワークショップの参加対象学生：合計24名（日本12名・ドイツ12名）  
日本側：向陽会の学生会員（新規会費を含む）のうち建築系学生・ドイツ側：ドレスデン工科大学・ドレスデン芸術工科大学の建築系学生

設計課題  
対象敷地：Bruehler Garten ドレスデンの中心市街地のエルベ川を囲む小公園。旧建築の跡地。撤去後から戦前までカフェ・レストランの建物があった。

課題内容：計画敷地の場所性や歴史性を踏まえつつ、周辺地域の都市景観および都市再生のあり方を検討しながら、当該敷地のアーバンデザイン又は新たな建築のアイデアを提案する。

### 「防犯まちづくり 対象地区：市川市・岡崎市など」

通学路等における「犯罪から子どもの安全」の確保にあたっては、学校区等の関係団体・機関（自治会・学校・市町村・警察等）の連携・協力による「計画的な防犯まちづくり」が効果的である。子どもの心身の健全な成長と総合的観点からの安全で安心なまちづくりを目指し、関係団体・機関、各専門家が計画的な防犯まちづくりを推進する上でのノウハウや事例を示したオンラインマニュアルと、情報共有の一助となるポータルサイトの開発を進めている。

### 「向島プロジェクト Mukojima Project」

向島プロジェクトでは、地域のNPOなどと連携して墨田区向島地域の都市再生・防災・建築・文化・アートに関わる学術的成果の集約と江戸以来の歴史文化を継承した地域資源を再評価しつつ、地域活性化を支援している。特に、次の4点に関して幅広い活動を行っている。

- (1) 地域資源の情報収集及び提供  
向島百花園の開園200周年記念「向島 Year2004」、や東京アートポイント計画「墨東まち見せ」等、アートまちづくりを組み合わせる各種プロジェクトを通して、地域の歴史や文化の再発見の活動を促進し、アートプロジェクトを通じたまちづくりの推進を図る。また、地域資源調査とまちづくりの推進を図る。また、地域資源調査とまちづくりの推進を図る。また、地域資源調査とまちづくりの推進を図る。
- (2) 地域活性化活動の支援  
地域内外の関連情報や専門的知識、ノウハウの提供により、空き家・空き地の活用、若者の移住促進等をサポートしている。特に、支援が立派な商店街に対しては、アートプロジェクトに対する資金助成やコンペによるアイデア・コンテンツの提供を行うなど、商店街と一緒に空き店舗対策に取り組んでいる。
- (3) 住まい・まちづくりに関する調査研究  
国土交通省のまちづくり計画策定型支援事業を通して路地を活か

### 「高見澤邦郎先生による 一般公開特別講義 (2008 - 2010)」

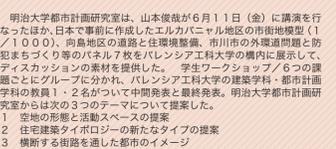
2008年度  
第一回講義 (6月3日)  
講義テーマ「バリエーションも80年余 遠く世界となった...」  
第二回講義 (10月15日)  
東京郊外都市の発展  
一その発展的拡大/町田市をテキストに  
第三回講義 (11月19日)  
「被災から復興へ」  
都市/建築計画の専門家は何をすべきか、できるか  
一阪神・淡路、中越、そして来るべき首都圏下地一

2009年度  
第一回講義 (6月02日)  
東京戦前郊外住宅地  
一込められた夢を訪ねて一  
第二回講義 (10月20日)  
町田市新市街  
一横文設計/工務に至る20年の物語一  
第三回講義 (11月25日)  
地域社会無形の巨大マンションに止るをかける  
郊外自治体におけるまちづくりに至る経緯と課題

2010年度  
第一回講義 (5月11日)  
東京の密集市街地  
不良住宅地区改良から防犯まちづくりに至る経緯と課題  
第二回講義 (10月20日)  
地域から発する街のルール  
一協定・地区計画・自治体条例、そして法改正に期待するもの一  
第三回講義 (12月14日)  
一狭径・下高井戸・久我山・玉川学園一

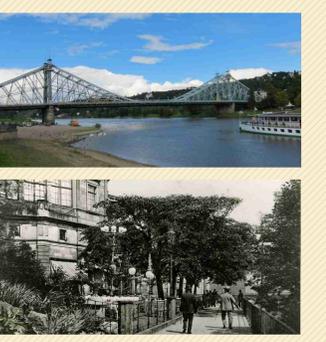
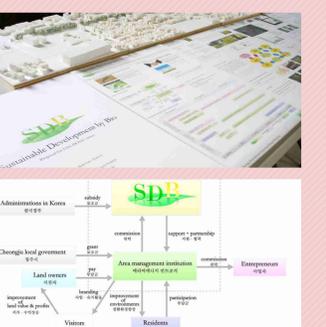
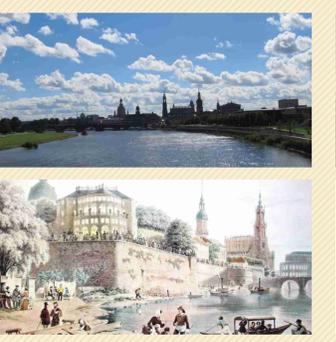
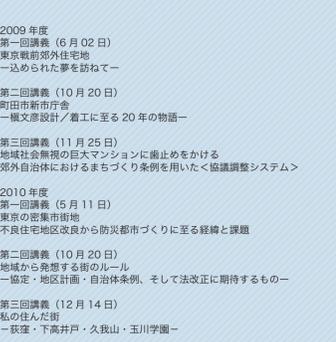
### 「2011年度 活動記録」

4月7日 津市市の被災地調査 (山本・藤井・鈴木・榎本・末永)  
4月9-10日 奈良県内の青色防犯灯設置地調査 (山本・榎本・藤井)  
4月12日 自主ゼミ  
大阪府から1ヶ月を経て、2-3階改築計画等を振り返る  
4月19-20日 阪神東部の復興支援ワークショップ (山本・藤井・鈴木)  
4月19-20日 阪神三合会  
「被災地の復興まちづくりに関して語り合う」  
4月25日 緊急特別シンポジウム  
「被災地復興への支援をいかに求めるのか」  
4月29日-5月3日 韓国WHOセブコミュニティ事例調査  
5月3日-6日 韓国・忠州都市建築国際ワークショップ  
9月9-17日 ドイツ・ドレスデン国際デザインワークショップ



### 「2010年度 活動記録」

8月30日-9月1日 8/31(火) 研究会 (新潟・札幌)  
9月8日-11日 日本建築学会大会 (富山大学)  
9月12日-20日 9/12(土) フラハ・ドレスデン  
9/13(日) フラハ・ドレスデン  
9/14(月) フラハ・ドレスデン  
9/15(火) フラハ・ドレスデン  
9/16(水) フラハ・ドレスデン  
9/17(木) フラハ・ドレスデン  
9/18(金) フラハ・ドレスデン  
9/19(土) フラハ・ドレスデン  
9/20(日) フラハ・ドレスデン



山本俊哉研究室は、伝統ある加藤研究室の歴史を受け継ぎ、2005年度に発足し、理工学部（建築学科）と大学院理工学研究科（建築専攻・新領域創造専攻）に所属するメンバー約30名が都市計画、まちづくり、防災・防犯、子ども環境、地域情報等、幅広い研究と実践を行なっています。2011年度からは、大学院建築専攻の委員教授として田村誠邦先生を迎え都市計画の研究についてご指導をいただいています。詳しくはこちらから<http://www.isc.meiji.ac.jp/~onepiece/>